

サポートカウが耕作放棄地へ

畜産センターでは、和牛繁殖農家の牛を耕作放棄地に放牧するサポートカウ事業を行っています。

今回、京丹波町の農家が、電気牧柵を設置した簡易放牧場に牛2頭を入れて電牧と野草を食べることに馴れさせ、2週間後には同町の耕作放棄地に放牧しました。

畜産農家は餌代の節約や管理の省力化ができ、受け入れ地域では獣害の減少や地域の活性化などで喜ばれています。



簡易放牧場で放牧未経験牛を馴致



耕作放棄地を整備した放牧場（約1ha）で
草を食べるサポートカウ

畜産センター